

# 国語総合古典分野において主体的に取り組む生徒を育てる指導の工夫

—「興味・関心を喚起する導入」及び「気づきを促す発問を工夫した発展学習」を通して—

国語班 一條武久 (高等学校教諭)

## 主題設定の理由



- 「古典に苦手意識をもっている」「古典を学ぶ意義が感じられない」という生徒が多数存在している。
  - 『平成22年度県立学校教育指導の重点』にも、確かな国語力を育成するポイントとして「国語学習への関心・意欲・態度を高める」ことが挙げられている。
  - 国語科教員として、古典のもつ面白さや人生に彩りを加える深みを生徒に味わってほしい。古典のもつ時間的・内容的深みに触れ、学習内容を自らに引き寄せて考える主体的な態度で古典学習に臨む生徒を育成したい。
- これらの理由により本主題を設定した。

## 研究構想図

### 目指す生徒像

国語総合古典分野において主体的に取り組む生徒



古典って面白い！

◎主体的に取り組む生徒とは…  
古典のもつ時間的・内容的深みに触れ、学習内容を自らに引き寄せて考えることができる生徒

### 手だて

#### 発展学習

生徒の実生活や身近な事象に結び付くような発問を取り入れる

→ 古典が現代に生きているという気づき

#### 導入

他教科等との関連を図るとともに、生徒の五感に訴える体験を取り入れる

→ 古典への興味・関心を喚起

### 生徒の実態

- ・古典が苦手である
- ・古典を学ぶ意義が感じられない
- ・古典を積極的には勉強しない



### 教師の願い

- ・古典の面白さに触れさせたい
- ・古典の深みを味わって欲しい
- ・日本人の心や文化に触れて欲しい

## 実践と結果

教材：徒然草『ある人弓射ることを習ふに』

	手だて	ねらい
興味・関心を喚起する導入	「輪投げ」を行う	「初心の者」の心情を擬似体験し、教材への興味・関心につなげる
気づきを促す発問を工夫した発展学習	学習状況を振り返る発問 兼好法師の疑問に答える発問 この教訓をどのように生かすかという発問	「懈怠の心」は自らにも潜んでいることに気付く 筆者との会話が成立したことに気付く 古典は身近なものであることに気付く

### 導入の効果

- ◆輪投げが楽しく、その後の授業も楽しく受けられた。
- ◆輪投げによって初心の人の気持ちが理解できた。
- ◆輪投げの導入で古文が身近に感じた。

### 発展学習の効果

- ◆昔と今で考え方が変わらないことが分かって、古典に親しみを感じた。
- ◆今の自分にも当てはまる内容で面白かった。
- ◆時間を大切にして、前向きに生きることが必要だと感じた。
- ◆兼好法師の考えをもっと知りたくなった。

【生徒アンケートより】

## 成果と課題

### 成果

- ・全員参加の体験型導入はその後の授業に対する意欲を喚起し、内容理解を深めることが分かった。
- ・古典の学習内容とつながるように、自らの体験を振り返る発問を取り入れた発展学習は、古典が苦手であるという先入観を解消し、古典に親しみをもたせることに有効であることが分かった。

### 課題

- ・「古典に対する強い苦手意識をもつ生徒への個別対応の手だて」及び「古典文法習熟へ、苦手意識を抱かせない手だて」を検討する必要がある。
- ・この研究は高校古典の「導入」であるため、学年が進行するに従ってさらに古典の深みが味わえるような、高校3年間を俯瞰した指導計画を作成する必要がある。